



# 園だより (年度末号)

一般財団法人  
リーゴ五才美保育園  
園長 菊地由美  
令和6年3月22日発行

この1年巷では「不適切な保育」が問題となっていました。子どもファーストで人権を考えるなら起こりえない事が起きてしまう事は非常に残念でした。しかし、明日は我が身とならないように、子どもにとって最大の利益を考え、保育という環境を整えていかねばと思います。もちろん、保育の質の向上も考え、職員も研修等で切磋琢磨していききたいと思います。どの子ども、大人に大切にされ愛情をいっぱい受け、自己主張できる環境において「人見知り」から始まり自我の芽生えと共に「イヤイヤ期」「反抗期」と続きます。もとより大人の思うようにならないのが子どもたち。これは成長の過程と見守れるように保護者の方と協力し、成長をお伝えし喜び合える関係を今後も築いていきたいです。



給食室よりこの1年の園生活でたくさんの思い出を作り、子どもたちの成長を共に喜ぶことができたことを心より感謝いたします。子どもたちの「給食美味しかった。いつもありがとう。」の声が励みになりました。給食を通して少しでも食に興味を持つことができたら嬉しく思います。今年度からさくら組さんは毎朝献立を聞きにきてくれて給食前には味見をしにきてくれる味見当番を作りました。クッキングは餃子の皮で作ったピザやクッキー作り、節分のカレーピラフに海苔やブロッコリーで鬼の顔を作って食べ、最近ではいつもの給食を自分でおにぎりを握りお弁当箱につめてピクニック気分を味わいたくさん楽しい思い出を作ることができたと思います。1、2歳でもできることはないかと考えきのこほぐしをしました。いろんな種類のきのこを見て触って匂いを嗅いで「今日のきのこカレーは自分たちがほぐしたきのこだよ。」と先生に説明してもらったのでとても喜んで食べてくれました。あらためて食育の大事さを知り来年度はもっと子どもたちが楽しいと思える食育を考えやっていきたいと思っています。子どもたちの食事作りの中で不安なことや心配なことがありましたらご相談ください。また献立の中で気になることやレシピが知りたいなど、給食室のアイデアなども共有できるといいと思いますのでお気軽にお声がけください。至らぬ面は多々ありますが子どもたちの成長や笑顔を見る事を喜びとして栄養バランスを考えた給食作りに取り組んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

